

平成18年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	なやプラザ [市民活動センター・なや学習センター]
所在地	四日市市蔵町4 - 17
指定管理者	<p>名称 四日市NPOセクター会議「なやプラザ」運営委員会</p> <p>代表者 特定非営利活動法人市民社会研究所代表理事 松井真理子</p> <p>住所 四日市市萱生町1200番地</p> <p>構成団体 (特)市民社会研究所</p> <p>(特)クロスポイント</p> <p>(特)ドッグイヤー</p> <p>(特)障害者福祉チャレンジド・ネット</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>市民文化部 市民文化課</p> <p>TEL : 059 - 354 - 8179</p> <p>E-mail : shiminbunka@city.yokkaichi.mie.jp</p>

モニタリングの総合コメント

なやプラザの施設の目的は、生涯学習活動やまちづくり活動を行う団体への支援であり、その管理運営状況については、施設の目的を達成しながら、指定管理者導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

管理運営については、計画どおり運営され、延べ利用者数で前年比で約29%増加しました。業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

自主事業については、今後の更なる取り組みに期待したいと感じました。経費については、削減はできなかったものの、利用料金収入の増加に比べ増加率が少なく、黒字となることができました。

今後の業務改善に向けた考え方

当施設の最大の目的である市民活動の促進、生涯学習活動の支援について、更なる充実が図られ、安心して施設利用ができることを求めています。

前年の検討課題として、ソフト面では、全体的には利用者数の増加がみられましたが、仕様書の定める自主事業の利用者数についても増加するよう工夫が欲しいところです。広報面では、ホームページの運営を適切におこなっていただきましたが、なやプラザニュースについては、さらに記事内容・紙面構成を工夫し、利用者、市民に対し、なやプラザ・四日市市の市民活動についての理解を深める内容となるように行って欲しいところです。ハード面では、利用者が増加したことで、汚れが目立つことにならないよう、十分気をつけください。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

生涯学習活動やまちづくり活動を行う団体への貸館、市民活動や生涯学習活動への相談等施設の目的に沿った実施方針に基づき適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。施設の効用については、当初計画より延べ利用者数・利用者登録数ともに増加しました。管理経費については、当初計画より増加しましたが、収入の増加の範囲内で執行されていました。また、市民活動団体、生涯学習団体の育成支援に一定の成果がありました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

生涯学習活動のため、施設運営に関する業務や自主事業を事業計画に則って適切に実施されていました。施設利用者数の増加がみられましたが、利便性の向上による増加の影響が大きかったといえます。施設利用の許可等について苦情はありましたが、制度設計的な内容であり指定管理者の立場を説明し改善につなげました。その他の事項に関する要望や苦情についても前向きに捕らえ、今後の改善に役立てていました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。施設の維持管理についても毎月の計画と結果を2ヶ月に一度の経営会議に報告し、計画通り実施されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

貸館使用料やコピー代等の利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の利用に関する許可申請書、保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

災害等の各種対応マニュアルを作成し、訓練を実施していました。個人情報保護についても研修会を行い、犯罪防止・秘密保持に努めています。施設賠償責任保険の加入もされていました。

社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯等の省力化、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。支出については計画より増加しましたが、収入の増加がこれを上回ったため、収支状況は改善しました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された収支状況について、構成する4団体すべての収支計算書等を分析した結果、課題や問題はなく、4団体とも特に問題はないと判断しました。

施設概要調査

1. 施設の概要

平成18年度

施設名	なやプラザ [市民活動センター・なや学習センター]		所管課: 市民文化課
所在地	四日市市蔵町4番17号		設置年月: 平成11年5月
設置目的	市民活動団体の活動・交流の拠点施設としてNPO活動を促進するため、及び市民の生涯学習活動を支援し、まちづくり活動を促進するため設置。		
設置の根拠 (法令、条例等)	市民活動センター条例、なや学習センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (m ²)	7142.66
		延床面積 (m ²)	1563.28
	事業概要	<p><有料>会議室 5室、音楽室 1室(ピアノ)、工学演習室 1室(サーバ機1台、クライアント機21台、プリンター5台等)、印刷コーナー <無料>事務スペース、フリースペース(作業、会議用)、パソコンコーナー、図書コーナー、資料コーナー</p> <p>(1) パソコン等付属設備の貸し出し (2) フリースペースの開放 (3) 資料コーナーでの情報発信 (4) 本の閲覧、貸し出し (5) NPO法人設立など、市民活動全般に関する相談 (6) 市内のコミュニティー活動や、市内の学習グループなどの活動の場として提供。</p>	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)
開館日数	347日	347日
開館時間	9:00~22:00	9:00~22:00
事業開催	講座(3回)	講座(4回)

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
貸し室等利用 回数	会議室 1	-	743回
	会議室 2	-	562回
	会議室 3	-	450回
	会議室 4	-	331回
	会議室 5	-	306回
	音楽室	-	704回
	工学演習室	-	163回
	計	2,800回	3,259回
施設利用人数	会議室 1	-	8,875人
	会議室 2	-	5,958人
	会議室 3	-	5,473人
	会議室 4	-	3,952人
	会議室 5	-	4,950人
	音楽室	-	9,485人
	工学演習室	-	2,126人
	その他利用	-	8,399人
計	40,000人	49,218人	
相談件数	-	77人	
講座等参加者数	70人	33人	

4 . 事業収支

(単位 : 円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
貸し室利用料金 収入	会議室 1	-	937,350
	会議室 2	-	665,400
	会議室 3	-	546,850
	会議室 4	-	404,400
	会議室 5	-	394,650
	音楽室	-	994,500
	工学演習室	-	560,800
	計	3,000,000	4,503,950
その他料金収入		500,000	918,574
自主事業収入		500,000	13,700
指定管理料		11,500,000	11,500,000
その他収入		100,000	110,247
収入計 (A)		15,600,000	17,046,471
事業費		500,000	487,000
人件費		8,749,475	10,498,011
修繕費		300,000	121,175
通信運搬費		320,000	239,855
施設管理費		1,220,525	1,701,391
印刷製本費		150,000	0
光熱水費		2,495,000	1,806,097
委託料		1,515,000	1,107,665
保険料		150,000	13,830
租税		0	220,562
雑費		200,000	662,641
管理費		0	2,960
支出計 (B)		15,600,000	16,861,187
収 支 (A) - (B)		0	185,284